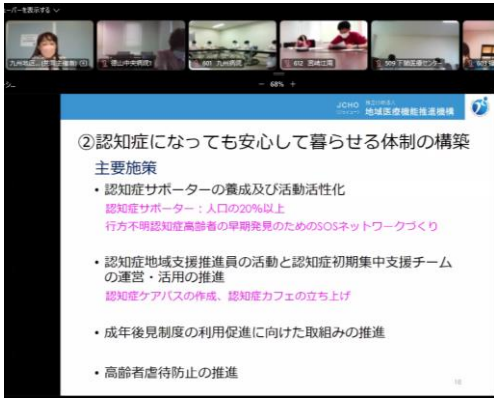


令和4年度 認知症看護研修

9月17日～19日WEBで認知症看護研修を開催しました。
九州地区14病院より54名が受講修了しました。

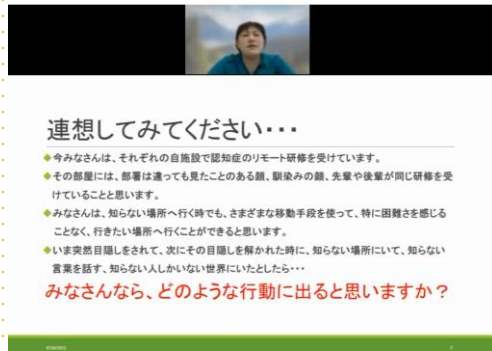


NHO肥前精神医療センター 橋本先生に
「認知症の病態と診断」「認知症の治療」
を講義していただきました。



「研修の目的について」
告吉看護専門職（九州地区事務所）

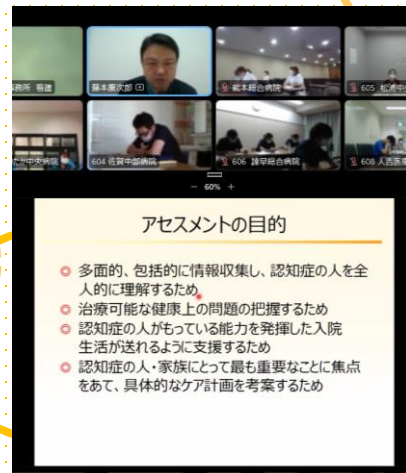
「認知症患者への関わり」
祁答院認知症看護認定看護師（久留米総合病院）



「認知症患者に対する入院中の看護に必要な
アセスメントと援助技術」
藤本認知症看護認定看護師（諫早総合病院）



「入院中の認知症患者の療養環境の調整方法」
重岡認知症看護認定看護師（徳山中央病院）



「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」
田淵老人看護専門看護師（福岡ゆたか中央病院）

進め方

- 各グループで司会、書記、発表者を決めて下さい。関わりがあまりないグループは一言自己紹介していただくと幸いです。
- この患者さんにとって最善の方針に足りない情報と現在の推定で最善の方針を考えます
- 考えるツールはジョンセンの4分割法を用います
 - 医学的提議
 - 患者の意向
 - 周囲の状況（看護師、家族など）
 - この人にとっての最大のQOL
- 上記の順に考えると足りない情報と現在の最善は何か？を導き出せたらGOOD
- 以上すべての観点から情報を整理して①対立する仮説を立てて②課題解決のための方針（あるいは、見えない部分を明らかにするための課題）と③どのように介入していくか考えましょう。

入院前から関係している職種・機関を知る

認知症の軌跡と、地域在宅の関係職種・機関を知って連携する

MCI 軽度 中等度 重度

在宅医療、介護施設、地域福祉センター、福祉センター、介護保険、介護支援センター、介護予防センター、介護予防センター、介護予防センター、介護予防センター

「院内外の多職種連携」
山口認知症看護認定看護師（人吉医療センター）

グループワーク
「これまでに関わった認知症の難渋事例」
「今後の自身の取り組み」




郵送前の講義資料